

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 個人情報保護および肖像権について家族・本人の同意を証明する文書が不十分なため、トラブルが起き	既存の「個人情報保護に関する当事業所の基本方針」「当事業所における個人情報の利用目的」「個人情報開示同意書」をそれぞれの別紙から表裏に印刷し、同意の内容をより具体的にする。 新たな「肖像権に関するご意向確認」を同用	左記書類を11月30日実施の運営推進会議の議題として了解を得る。 本書類は次新規入居者より使用。 「肖像権に関するご意向確認」は現入居者家族に12月中に発送し、遅くとも来年1月中の回収を目指す。	2ヶ月
2	23	○思いや意向の把握 職員の入居者に対する対応のなかで、感情的・抑制的な言動がみられる。	特定の職員と特定の入居者の間のみで通じ合う言動・態度が、第三者にとっては不快と感ずることがあることを、全職員はよく理解しておくことが必要。現在取り組んでいる身体拘束排除では明文化していないが、「スピーチロック」についても取り上げていく。	定期的に行っている「身体拘束等適正化対策検討委員会」における拘束実態確認の中で「スピーチロック」の事例を検討する。 また職員と入居者の関係でも「パワー・ハラスメント」が発生することも考えられることから、今後の法制化の中の指針を取り入れて、該当し	6ヶ月
3	2	○事業所と地域のつきあい 地域の祭りや市には積極的な参加しているが、地区清掃や防災訓練への参加実績がない。	地域の回覧板等から情報を収集し、地域の催しに積極的に参加していく。	地区清掃や地域防災訓練は開催の情報があり入りこず、また入居者の状況からみて「見学参加」が現実的とは考えているが、機会があれば検討したい。ほぼ毎日の近隣公園散策時には、職員がゴミ袋を携帯、公園内に落ちているゴミくず類をいつでも拾えるようにし、少しでも	12ヶ月
4	52	○居心地のよい共用空間づくり ベランダが有効活用されておらず、利用者の楽しさに繋がっていない。	各階のベランダは狭小であり、安全確保にも問題があるため、入居者が外気に触れて気分転換をするのには向いていないが、プランターを置き、室内側から水やりなどをして楽しみがもてるよう活用する。	気候の良い春先・秋口にはプランターをベランダに出し、花の水やりなど入居者が楽しめるよう活用する。 厳冬時や猛暑時には戸の開放を避ける必要があるため、気候に配慮した楽しみを考える。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。